

熊中だより

校長室通信
第10号
北九州市立熊西中学校
校長 安部朋恵

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、3年生を対象として、「教科（国語，数学，英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

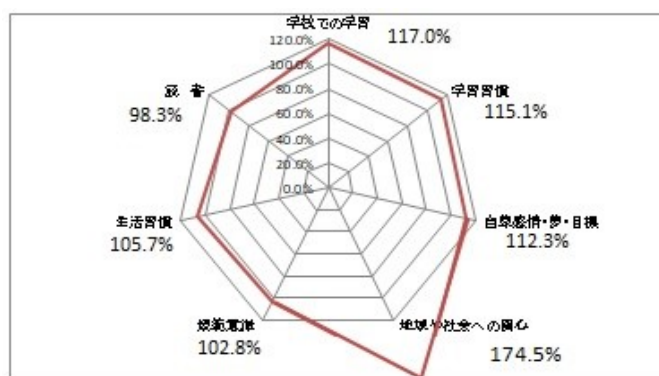
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科	全体的な傾向や特徴など	全国平均正答率を下回った。特に根拠を示して説明することや、文章を読んで概略をまとめることが課題である。	全国平均正答率との比較 下回っている
	国語	よくできた問題	2-1 話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する問題。
努力が必要な問題		3-2 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く問題。	
全体的な傾向や特徴など		計算する技能は定着がみられるが、説明する問題においては、用語を用いて的確に表現することが難しく、無回答も2割を超えるものがある。	全国平均正答率との比較 下回っている
数学	よくできた問題	2 簡単な連立二元一次方程式を解く問題。	
	努力が必要な問題	7(3) 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し、説明する問題。	
	全体的な傾向や特徴など	外国語理解の能力については、全国平均と同程度であったが、外国語表現の能力に関しては全国平均正答率を下回った。	全国平均正答率との比較 下回っている
英語	よくできた問題	4 まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる問題。	
	努力が必要な問題	10 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題。	

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



すべての項目で全国平均を上回った。中でも、「地域や社会への関心」については全国平均を大幅に上回った。また、昨年度と比較して、「学校での学習」「学習習慣」「自尊感情・夢・目標」「規範意識」について改善がみられた。今後は朝読書の取り組みを中心に読書活動が活発に行われるように、指導方法を工夫・検討していく。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・「言葉の力」を育むために、話し合う活動と、書く活動を毎時間の授業の中に計画的に位置づけ、授業を行う。
- ・朝の10分間読書を基盤にした、読書活動を推進する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・熊中ノート(自学ノート)を活用し、家庭学習の時間を確保するとともに、質を充実させていく。
- ・家庭学習を促すため、宿題を課す。また、個別指導を充実させるために、小テストを行い、放課後に補充学習を行う。